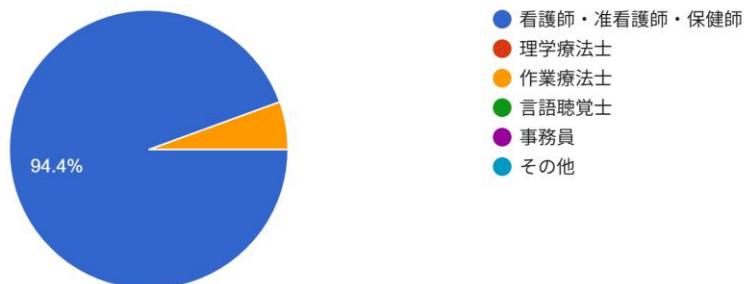


# 北海道訪問看護ステーション連絡協議会 BCP 研修アーカイブ版 アンケート結果 回答 36 件

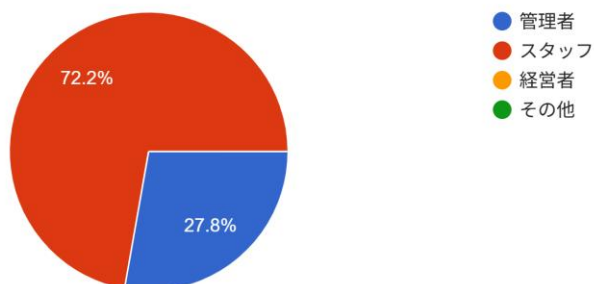
## 1. あなたの職種を教えてください

36 件の回答



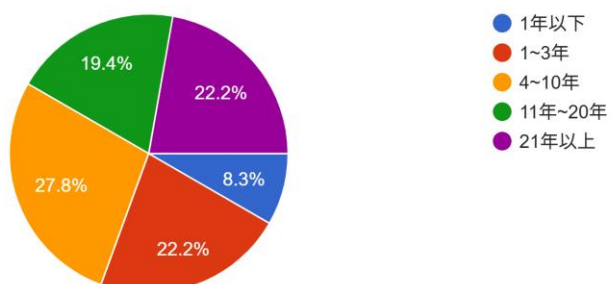
## 2. あなたの役職を教えてください

36 件の回答



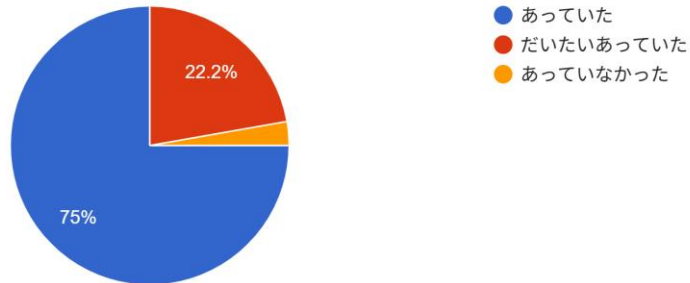
## 3. あなたの訪問看護経験年数を教えてください

36 件の回答



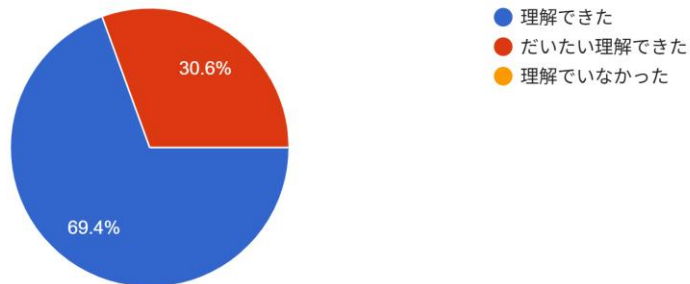
4. 研修の内容はあなたのニーズにあっていましたか？

36 件の回答



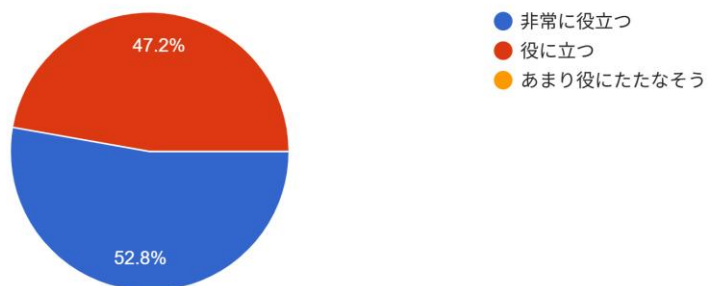
5. 研修の内容はあなたのニーズにあっていましたか？

36 件の回答



6. 研修で学んだことは業務に役立ちそうですか？

36 件の回答



7. 今回の研修で学んだことを・印象に残ったことを教えてください

22 件の回答

ステーション同士で協力を得られるシステム作り

どのような災害が起こるか、地域をアセスメントして準備しておく事が大事と感じた。

BCP を策定していても、シュミレーション訓練など行っていないければ活用できないし、意識も薄れてしまうので、様々な場面を想定して訓練しておく、別な角度からの課題も見いだせると感じます。コアステーションの件は、なかなか難しいですが、地域で活用できる連携システムなども共有できるものがあればいいと思いました。GW の結果を聞いて、細かい部分の検討も必要と感じました

BPC の必要性和計画後の改善も考えていかなければならないことを学びました。

再確認でき、ステーションに当てはめ考えることができました。

利用者様の安否確認も重要だが、まずは自分自身の安全確保をしたうえで冷静に判断し行動すること、そして管理者と情報共有をしたうえで利用者様への対応を行うことが重要だと感じました。

PDCA サイクルを常に回していくことが求められている。災害の規模に合わせた対応は状況によって変化するため、適宜アセスメントしていく必要があると学びました。また、地域全体で利用者を守ることが重要であるため、各ステーションとの横のつながりを持ち、手を取り合う必要性を学びました。

いつ何が起こるか分からないため、BCP 訓練を行い、緊急時でも落ち着いて対応できるようにすることが大切だと思いました。

症例検討会では大雨を想定されており考え方については学ぶことができましたが、地震、津波であればかなり身近な災害ですのもっと業務に役立つのではないかと思います。

実際に訓練しないとわからないと思いました。身近な事は、停電でしょうか。

災害危険度Ⅱの段階でどんなケアが優先度として高いのか。ステーションの特色に沿って訪問の優先度を検討する必要がある。そもそも当ステーションの BCP があるのか分からない……

BCP を活用するために訓練や普段からのステーション内での話し合いが重要だと学んだ。

訪問看護ステーションで働き始めた 2 年間で、大雪でステージⅡに相当するようなことが 2 回起きたのと、津波警報でステージⅣに相当する出来事がありました。津波の際は災害担当のスタッフがファシリテーターとなり、タイムキーパーや書記としてスタッフが振り分けられて対応していたのを見ていました。そのときは BCP についてよくわかっていなかったですが、今回研修を受けて有事で動いてくれたスタッフの意図や行動がとても理解できました。ステージⅢについては、近隣のステーションとの連携について私が働くステーションではどのように考えているのか、所長に確認したいと思います。

シュミレーションの進め方が具体的に理解でき参考になりました。

有事の際に BCP が有効に活用できるよう BCM が重要だと学びました。

実際の状況でのシミュレーションで、そのようなスピード感で状況が変化するのだと意識することができました

夜間の災害対応など、予想外の想定をしておくことが大切と思いました。話を聞くことで、自分たちのしていることがどのような位置づけになるのか理解することができました。

BCPを作成するだけでなく、実際に使用確認が必要な事、どこまで実際の災害を想定できるかが大切だと思いました

BCP発動のタイミングを考えていなかった事に気付く事が出来た。早速、詳細を検討し計画に取り込みたい。

訓練の際の事例検討は、時間、規模、天気など要点を押さえておかないと話し合いがまとまらない。いろんな事例をトレーニングのように重ねてイメージしたり思考過程を学ぶ必要がある。BCP発動のタイミングについて考えることができた。

島内唯一の訪問看護ステーションでは、他事業所との連携は不可能であり、事前に利用者様、ご家族と訪問できない場合の対策方法をしっかり行う必要があると改めて感じました。ストマ交換、HOT使用者等各利用者にあわせた具体的対策を再検討、情報共有していく。冬期雪害で通行止めもあり、天気予報から先読み、訪問前倒し対応を行っている。しかし夜間オンコールでは、移動中の吹雪や、雨、津波の状況は待機者の判断になり、スタッフの危険が懸念される。看護師も地元出身ではないため入職時、そして日ごろから地域地形等も情報として伝え、利用者、スタッフの安全な対応ができるよう訓練が必要と感じた。

## 8. 北海道訪問看護ステーション連絡協議会への要望等ありましたらご記載ください

6件の回答

法定研修については今後も毎年ご案内して頂くことを要望いたします。

新しい情報があれば知りたいです

訪問看護にもっとリーダーやリーダー研修を実施してほしい。ファシリテーターの育成など。

今回も研修を開催していただき、ありがとうございました。オンライン開催はそのときに参加できなくても、後ほど学ことができるのでとても助かりました。

法定研修合同研修会を来年度も行って欲しいです。

貴重な研修のアーカイブはとてもありがたいです。グループワークがあると拒否反応、出席したくないスタッフが多いので、抵抗なく視聴できます。訓練用の事例を問題集のようにHPに掲載していただけたら、とっても嬉しいです。